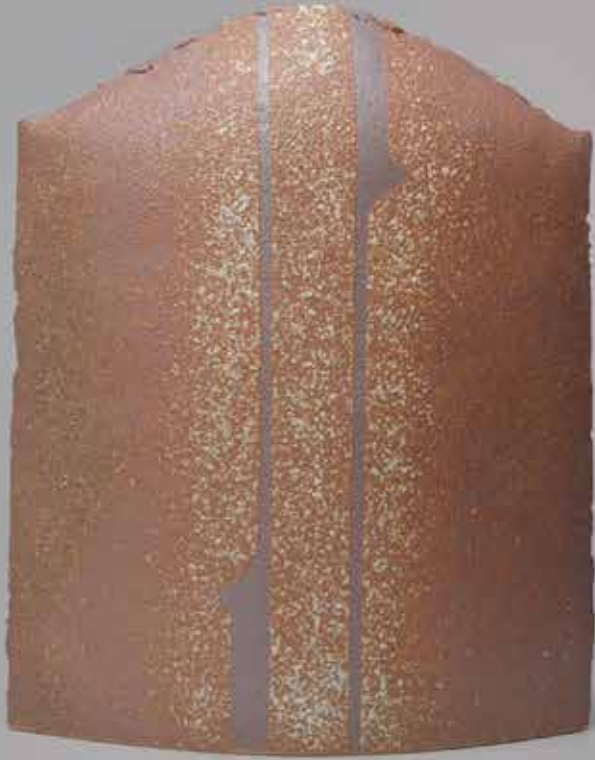


受け継がれる越前焼の今



MITSUO
KASATSUJI

深秋へ／2021年

司辻光男・司辻健司

2022.10.28.fri — 11.25.fri 父子展

平成記念美術館 ギャラリー Heisei Memorial Art Gallery

10:00 - 18:00 | 日曜休館 | 主催：(株)平成建設 | 観覧無料

KENJI
KASATSUJI

茜さす／2020年



作家紹介



司辻 光男

Mitsuo Kasatsuji

[陶歴]

- 1947 福井県生まれ
- 1977 第9回日展 初入選
- 1978 第17回日本現代工芸展 初入選
- 1988 第27回日本現代工芸展 審査員
- 1995 第27回日展 特選
- 2000 第32回日展 特選
- 2005 第37回日展 審査員(以降3回)
- 2010 福井県文化賞
- 2017 現代の名工 厚生労働大臣表彰
- 2018 黄綬褒章受章



永(いつまでも) / 2019年



炎炎 / 2020年

2017年、日本遺産に登録 「越前焼」の伝統を受け継ぐ司辻父子の作品展

父光男は粘りのある鉄分の多い越前の陶土を使い、「光窯」で日々制作を重ねています。生活を豊かにするための器造りへの研究を重ね、越前焼の業界を牽引してきました。また、日展作家として内包するエネルギー溢れる斬新な陶芸を発表する傍ら審査員を歴任し、工芸界のリーダーとしても活躍しています。子である健司は温かみのある土の魅力を最大限に引き出しながら開放感のあるモダンなフォルムと色彩で、華やかな現代性溢れる作品を発表し、注目されている陶芸作家です。守り伝えられた知恵と工夫の結晶である技に、ほとぼしる個性的な感性をプラスした司辻父子の作品は人の心を打ちながら未来へと前進します。同じ土を使いながら色味も異なり、独自の世界観を表現する父子の作品です。未来へ向かう造形作品、おもてなしする器や日常を楽しむ器など越前焼の可能性を秘めた作品群を是非ご覧ください。



平安時代末期から始まった越前焼は甗(かめ)や摺鉢などの日用品をメインに北陸最大の窯業産地として発展しました。平成29年日本遺産に認定された「日本六古窯」の一つにも数えられ、昭和40年以降に福井県内で生産される各窯元の焼き物の名称が越前焼に統一されました。



茜さす / 2021年



茜風 / 2019年



司辻 健司

Kenji Kasatsuji

[陶歴]

- 1973 福井県生まれ
- 1998 第37回日本現代工芸展 初入選
第30回日展 初入選
- 2003 第42回日本現代工芸展 現代工芸賞
- 2013 第52回日本現代工芸展 本会員賞
- 2015 越前うすづくり「極歪」 経済産業大臣賞
- 2016 第55回日本現代工芸展 審査員
- 2018 全国伝統的工芸品展 経済産業大臣賞
- 2019 第58回日本現代工芸展 副理事長賞
- 2021 第8回日展 特選

平成記念美術館 ギャラリー

〒156-0053 東京都世田谷区桜 3-25-4

TEL.03-3426-1103

開館時間 10:00~18:00 / 観覧料無料

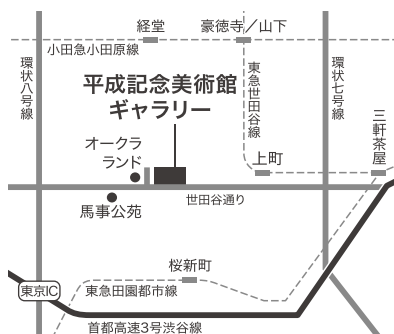
休館日: 日曜日・年末年始

<https://www.heiseikensetu.co.jp/gallery/>

[電車] 東急世田谷線 上町駅より徒歩10分

[バス] 渋谷駅バス停 4番乗り場「成城学園前駅西口」行 渋24(東急バス/小田急バス)「大蔵ランド前」下車 徒歩1分

※ ご来館の皆様が安心して展示を楽しんでいただけるよう、感染症対策に取り組んでまいります。詳しくはギャラリーサイトをご覧ください。



【次回企画展のお知らせ】

2022年12月1日(木)~2023年1月13日(金)

石の魅力展

※スケジュールは予定のため、変更になる場合があります。



平成記念美術館 ギャラリー

公式アカウントはこちら ▶

@heisei_artgallery

